

# 気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【住宅建築業（IF-HB）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：  
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。  
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**住宅建築業（IF-HB）産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
  - ▶ 産業別開示要求の構成
    - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
    - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
  - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

## S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

<b>産業の説明</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies)、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している</li></ul>
<b>開示トピック及びトピックサマリー</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの</li><li>❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる</li></ul>
<b>指標</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている</li></ul>
<b>技術的プロトコル</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する</li></ul>
<b>活動指標</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの</li><li>❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している</li></ul>

**産業名  
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

**産業の説明**

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

**開示トピック**

**指標**

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
原材料調達	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA-440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1  1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの</li> <li>• 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの</li> </ul>	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性</li> <li>• これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか</li> </ul>	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

# 気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

## 適切な産業の 選択

- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない(S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある(S2基準案 B9項)

## 重大なリスク 及び機会の識別

- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない(S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求(付録B)の中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない(S2基準案 第10項)

## 指標の特定

- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない(S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」において定められている産業別指標を開示**しなければならない(S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会を適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない(S2基準案 B16項)

(次頁に続く)



# 気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー  
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に  
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク  
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会  
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性  
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

# 住宅建築業 Home Builders (IF-HB)

「住宅建築業」産業は、新しい住宅や居住区を開発する企業により構成される。開発の手順には通常、土地の取得、整地、住宅の工事及び住宅の販売が含まれる。産業の活動の大半は、典型的には企業設計による居住区の一部である、単世帯住宅の開発及び販売に焦点が当てられる。相対的に小さいセグメントは、タウンホーム、コンドミニアム、多世帯住宅、及び複合用途開発を中心に置いている。この産業に属する企業の多くは個人の住宅購入者に金融サービスを提供している。企業の構造や地理的な重点地域が異なる、さまざまな規模の多数のデベロッパーが存在するため、この産業は細分化されている。上場企業は規模が著しく大きい傾向があり、無数の非公開の住宅建築会社と比べより統合されている傾向がある。

トピック	コード	指標
土地利用及び生態系への影響 (impacts)	IF-HB-160a.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>再開発地で引き渡された(1)区画数、及び(2)住宅の数</li> </ul>
	IF-HB-160a.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベースライン水ストレスが「高い」地域又は「極めて高い」地域で引き渡された(1)区画数、及び(2)住宅の数</li> </ul>
	IF-HB-160a.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境規制に関連する法的手続の結果としての金銭的損失の総額</li> </ul>
	IF-HB-160a.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境上の考慮事項を、用地選定、用地設計並びに用地開発及び建設に統合するプロセスについての説明</li> </ul>
資源効率的な設計	IF-HB-410a.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)認証された HERS®インデックススコアを取得した住宅の数、及び(2)平均スコア</li> </ul>
	IF-HB-410a.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>水効率基準認証を受けた水道設備の設置割合</li> </ul>
	IF-HB-410a.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者の多属性 (multi-attribute) グリーンビルディング基準の認証を受けた、引き渡された住宅の数</li> </ul>
	IF-HB-410a.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の設計に資源効率を組み込むことに関連するリスク及び機会、並びに便益を顧客に伝える方法の記述</li> </ul>
気候変動への適応	IF-HB-420a.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>100年確率洪水地帯にある区画数</li> </ul>
	IF-HB-420a.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動リスクエクスポージャー分析、システマティックなポートフォリオエクスポージャーの程度、及びリスクを軽減するための戦略の記述</li> </ul>

住宅建設業者は、開発活動による生態学的な影響 (impacts) に直結する課題に直面している。

開発はしばしば未開発の土地で行われ、企業は、「グリーンフィールド」の土地開発に伴う規制及び許認可プロセスの管理に加え、建設活動による生態系の破壊を管理しなければならない。

企業が行う用地決定にかかわらず、産業の開発活動は一般的に、土地及び水の汚染、廃棄物の不適切な管理、並びに、建設及び使用段階での水資源への過度の負担に関連するリスクをもたらす。

環境規制の違反は、評判を毀損する一方で、経済的リターンを減少させる**高額な罰金及び遅延の原因**となる可能性がある。

違反を繰り返す企業、又は、生態学的な過度な影響 (impacts) を与える過去の活動実績がある企業は、新規開発のために地域社会からの承認を得ることが難しく、それにより、**将来の売上及び市場シェアが減少する**場合がある。

水ストレスのある地域に開発努力を集中させている企業は、許認可の取得がさらに困難になる場合があり、また、水不足の懸念から土地又は住宅の価値下落に関連するリスクに直面する場合もある。

環境品質管理手順、「スマートグロース」戦略（再開発地に注力することを含む）及び保全戦略は、環境に関連する法令の遵守を確実にし、それゆえに、**財務リスクを軽減し、将来の成長機会を向上させる**のに役立つ場合がある。

コード： IF-HB- 160a.1	指標： 再開発地で引き渡された(1)区画数、及び(2)住宅の数	測定単位： 数
1	<b>(1)再開発地にある管理区画の数を開示する</b>	
1.2	<p><b>再開発地の範囲には、国、州又は現地の指定を満たすブラウンフィールド (brownfield) 用地及びグレイフィールド (greyfield) 用地を含める</b></p> <p><b>国、州又は現地の定義がない場合は、以下の定義を使用する</b></p>	
1.2.1	再開発地は、新しい開発に対応するための交換、改造又は既存の構築物を新しい開発に提供するための再利用を含む、過去に開発された用地として定義する	
1.2.2	ブラウンフィールド (brownfield) 用地は、有害物質、汚染物質又は異物の存在又は潜在的な存在によって、拡張、再開発又は再利用が複雑になる可能性のある不動産と定義する	
1.2.3	グレイフィールド (greyfield) 用地は、表面積の少なくとも 50%が不浸透性材料で覆われている、過去に開発された用地と定義する	
2	<b>(2)再開発地で建設され、引き渡された住宅の数を開示する</b>	
2.1	<b>住宅の範囲には、戸建住宅、集合住宅又は多世帯住宅の一部であるかどうかにかかわらず、単世帯の住宅を含める</b>	

コード： IF-HB- 160a.2	指標： ベースライン水ストレスが「高い」地域又は「極めて高い」地域 で引き渡された(1)区画数、及び(2)住宅の数	測定単位： 数
1	(1)ベースライン水ストレスが「高い」地域、又は、「極めて高い」地域にある管理区画の数を開示する	
1.2	世界資源研究所（WRI）の水リスクアトラス（Water Risk Atlas）ツールであるAqueduct（アキダクト）を使用して、ベースライン水ストレスが「高い（40～80%）」又は「極めて高い（> 80%）」場所にある管理区画を識別する	
2	(2)ベースライン水ストレスが「高い」地域又は「極めて高い」地域で引き渡された住宅の数を開示する	
2.1	住宅の範囲は、戸建住宅、集合住宅又は多世帯住宅の一部であるかどうかにかかわらず、単世帯の住宅を含める	

コード： IF-HB- 160a.3	指標： 環境規制に関連する法的手続の結果としての金銭的損失の総額	測定単位： 報告通貨
1	環境規制に関連する法的手続の結果、報告期間中に発生した金銭的損失の総額を開示する	
2	法的手続には、裁判官、取締役、仲裁人又はその他のいずれの面前であるかを問わず、企業が関与した審判手続を含める	
3	損失には、あらゆる企業が提起した民事訴訟、規制手続、及び刑事訴訟の結果として報告期間中に発生した罰金及びその他の金銭的債務を含む、相手方又は他者に対するすべての金銭的債務を含める	
4	金銭的損失の範囲からは、企業がその抗弁において負担した法的及びその他の手数料及び費用は除外する	
5	開示の範囲には、住宅建設産業よりも広い執行権限を持つ規制当局によって裁定された活動に関連する執行を含める	



コード： IF-HB- 160a.3	注記
1	法的手続の結果としてのすべての金銭的損失の性質及び背景を簡潔に記述する
2	法的手続の結果として適用した是正措置について記述する

コード： IF-HB- 160a.4	指標： 環境上の考慮事項を、用地選定、用地設計並びに用地開発及び建設に統合するプロセスについての説明	測定単位： 該当なし
1	環境上の考慮事項を、用地選定、用地設計並びに用地開発及び建設に統合するために使用するプロセスについて説明する	
2 2.1 2.2	<p><b>用地選定に関する以下の側面へのアプローチを記述する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 取得又は開発が検討されている用地の生態系に対する配慮の程度を評価するために使用されるプロセス、及びそのような評価が取得及び開発の意思決定にどのように組み込まれているか</li> <li>• 意思決定プロセスにおける用地分類の使用</li> </ul>	
3 3.1	<p><b>用地設計に関する以下の側面に対するアプローチを記述する</b></p> <p>斜面の崩壊、土壌の攪乱及び浸食、豪雨水、廃棄物並びに野生生物の生息地への影響 (impacts) の管理を含む、生態系への影響を最小限に抑えるよう用地設計するために使用されるプロセス</p>	
4 4.1	<p><b>用地開発及び建設に関する以下の側面に対するアプローチを記述する</b></p> <p>建設及び解体廃棄物、排水、土壌の攪乱及び侵食、並びに有害物質の管理を含む、建設中の生態系への影響 (impacts) を最小限に抑えるために使用されるプロセス</p>	

コード： IF-HB- 160a.4	指標： 環境上の考慮事項を、用地選定、用地設計並びに用地開発及び建設に統合するプロセスについての説明	測定単位： 該当なし
5	環境上の考慮事項に関連するリスクを評価するための自社のアプローチ及び、これらのリスクを管理するための関連する内部の方針、実務及び手続を記述する	
6	該当する場合、用地選定、用地設計並びに開発及び建設に対処するコード (codes)、ガイドライン及び基準の使用について記述する	

住宅建築物は、居住時に大量のエネルギーと水を消費する。

「住宅建設業」産業の企業は、サステナブルな設計の実務及び材料の選択を通じて、住宅のライフサイクル全体にわたって資源効率を向上させることができる。

省エネルギー製品、及び、効率的な冷暖房のための住宅を設計することなどの省エネルギー技術は、電力系統又は現場での燃料燃焼によるものであるかどうかにかかわらず、エネルギーへの依存を減らすのに役立つ。

住宅の資源効率を向上させることを目的としたこれらの対策は、光熱費の減少を通じて**住宅所有のコストを削減**することができる。

低流量の蛇口などの節水機能は、地域社会への負担を軽減すると同時に、**コストを下げる**ことにもつながる可能性がある。

エネルギー及び水効率の重要性（importance）に対する住宅購入者の認識は、企業がターゲット市場での需要を増加させ、それにより、**売上又はマージン（又はこの両方）を増大**させる可能性をもたらす。

特に企業がこれらの住宅の長期的な便益について顧客を体系的に教育することに成功した場合、費用対効果の高い方法で資源効率設計の原則を効果的に適用することは、**競争上の優位性をもたらす**場合がある。

コード： IF-HB-410a.1	指標： (1)認証された HERS®インデックススコアを取得した住宅の数、及び(2)平均スコア	測定単位： 数、指数スコア
1	報告期間中に、(1)認証された住宅エネルギー評価システム (HERS®) インデックススコア、又は米国外の市場で同等の標準化された住宅エネルギー格付を取得した住宅の数を開示する	
1.1	住宅の範囲は、戸建住宅、集合住宅又は多世帯住宅の一部であるかどうかにかかわらず、単世帯の住宅を含む	
2	(2)認証された HERS®インデックススコアを取得したすべての住宅の単純平均スコアを開示する	
2.1	<p>単純平均は、認証された HERS®インデックススコアを報告期間中に取得した住宅に関連するすべてのスコアの合計について、認証された HERS®インデックススコアを報告期間中に取得した住宅の数で除して計算する</p> <p>計算式の例：</p> $\text{HERS®インデックススコアを取得した住宅に関連するすべてのスコアの合計} \div \text{HERS®インデックススコアを取得した住宅の数}$	

コード： IF-HB- 410a.2	指標： 水効率基準認証を受けた水道設備の設置割合	測定単位： パーセンテージ(%)
1	法域の水効率基準の認証を受けた水道設備の設置の割合を開示する	
1.2	<p>上記の割合は、報告期間中に設置された法域の水効率基準の認証を受けた水道設備の数について、設置された水道設備の総数で除して計算する</p> <p>計算式の例：</p> <p>報告期間中に設置された法域の水効率基準の認証を受けた水道設備の数 ÷ 設置された水道設備の総数</p>	
3	上記の計算に使用した法域の基準、ガイドライン、又は規則を開示する	

コード： IF-HB- 410a.3	指標： 第三者の多属性（multi-attribute）グリーンビルディング基準 の認証を受けた、引き渡された住宅の数	測定単位： 数
1	住宅向けに設計された第三者の多属性（multi-attribute）グリーンビルディング基準の認証を受けた、引き渡された住宅の数を開示する	
1.1	第三者の多属性（multi-attribute）グリーンビルディング基準の範囲は、以下の側面に対処している	
1.1.1	• エネルギー効率	
1.1.2	• 節水	
1.1.3	• 材料及び資源の効率	
1.1.4	• 屋内環境品質	
1.1.5	• 所有者教育	
2	自社の住宅が認証を受けている第三者の多属性（multi-attribute）グリーンビルディング基準を開示する	
3	開示の範囲には、報告期間中に引き渡されたすべての住宅を含む	

コード： IF-HB- 410a.4	指標： 住宅の設計に資源効率を組み込むことに関連するリスク及び機会、並びに便益を顧客に伝える方法の記述	測定単位： 該当なし
1	<p><b>環境に関する考慮事項を住宅の設計に統合する自社のアプローチに関連するリスク又は機会（又はこの両方）について記述する</b></p> <p>関連性がある場合、以下を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 • テクノロジーに対する投資について十分なリターンを達成できないリスク</li> <li>1.2 • 住宅のサステナビリティパフォーマンスを向上させる又はサステナビリティ認証を取得することへの市場需要</li> <li>1.3 • エネルギー効率、水効率及び屋内環境品質の点で性能の低い住宅が生産されることに関連する市場需要へのリスク</li> <li>1.4 • 発展する建築物コードを満たす住宅を費用対効果の高い方法で建設する能力に関連するリスク</li> <li>1.4 • 販売価格のプレミアムを達成し、ターゲット市場の需要を獲得し、競争上の優位性を確立する機会</li> </ul>	
2	<p><b>以下を含む住宅のエネルギー効率及び水効率のパフォーマンス改善を測定し伝達するための自社の戦略を説明する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 • エネルギー及び水効率に関する住宅所有者の便益の測定値</li> <li>2.2 • 見込まれる住宅購入者への資源効率の便益の伝達</li> </ul>	



異常気象及び気候パターンの変化を含む気候変動の影響（impacts）は、企業が住宅及び住宅地域を開発するために選択する市場に影響を与える場合がある。

気候変動リスクの継続的な評価を取り入れ、そのようなリスクに適応したビジネスモデルを有する企業は、部分的にはリスクの軽減を通じて**長期にわたって企業価値（company value）をより効果的に成長させる**ことができる可能性が高い。

さらに言えば、洪水などの異常気象にさらされる氾濫原及び沿岸地域での住宅開発活動に焦点を当てた戦略では、洪水保険料、政府補助による洪水保険プログラムの財務的安定性、許認可及び融資条件などの長期的な課題を特に考慮し、気候変動に適応するためのビジネスモデルの必要性が高まっている。

気候変動の激しい地域では、気候リスクの上昇及び不動産の占有コストの上昇が、**長期的な需要の減少、地価の下落、住宅所有にかかる長期的なコストの過小評価に対する懸念につながる**場合がある。

さらに、水ストレスにさらされている地域で開発を行う企業は、**土地の価値を失うリスクがあり、許認可の問題に直面する**場合がある。

気候変動リスクを積極的に評価し、長期的な住宅購入者の需要を全体的に見ることで、企業はそのようなリスクにうまく適応することができる可能性がある。

<b>コード :</b> <b>IF-HB-</b> <b>420a.1</b>	<b>指標 :</b> <b>100 年確率洪水地帯にある区画数</b>	<b>測定単位 :</b> <b>数</b>
<b>1</b>	<b>100 年確率洪水地帯にある管理区画の数を開示する</b>	
<b>1.1</b>	<b>100 年確率洪水地帯は、任意の年に 1%以上の確率で洪水が生じる土地区域と定義する</b>	
<b>2</b>	<b>開示の範囲には、これらが所在する国に関係なく、100 年確率洪水地帯にある企業の管理区画のすべてを含める</b>	

コード： IF-HB- 420a.2	指標： 気候変動リスクエクスポージャー分析、システムティックなポートフォリオエクスポージャーの程度、及びリスクを軽減するための戦略の記述	測定単位： 該当なし
1	<p>気候変動のシナリオが自社の事業にもたす重大な (significant) リスク及び機会について記述する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 • それぞれの重大な (significant) リスク及び機会を識別する</li> <li>1.2 • リスク及び機会が顕在化すると予想されるタイムラインについて説明する</li> <li>1.3 • 気候変動によってもたらされるリスク及び機会を決定するために使用した気候変動シナリオを開示する</li> </ul>	
2	<p>あらゆるリスクの軽減や適応、又はあらゆる機会の利用のための、気候変動の影響 (impacts) 及び関連する戦略を評価及びモニタリングする取組み (efforts) を記述する</p>	
3	<p>気候変動リスクを管理するための物理的な手段又は、これらのリスクを管理するための財務的な方法 (又はその両方) を利用することに関する戦略について説明する</p>	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
IF-HB-000.A	管理区画数	定量	数
IF-HB-000.B	引き渡された住宅の数	定量	数
IF-HB-000.C	稼働している販売地域の数	定量	数

## IF-HB-000.Bに関する注記

- 住宅の範囲には、戸建住宅、集合住宅又は多世帯住宅の一部であるかどうかにかかわらず、単世帯の住戸を含めなければならない。

